

経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

(3) 株式会社永木農園への熊本地震対策ファンド対応について

JAバンク熊本（熊本県）

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	<p>「株式会社永木農園」は、トマトを始めとした農産物を生産する農業法人であり経営の高度化を目指し平成 28 年 9 月に法人化しました。</p> <p>高い栽培技術・栽培管理による高品質な農産物の栽培に親子 3 代にわたり取り組んできた地域の中核的な農業法人です。</p> <p>同社は、熊本地震により一部農作物に被害を受けましたが、地域の担い手として、新たな栽培技術の導入により規模拡大および生産効率化を図りながら、地域活性化へ貢献しています。</p>
2 概要	<p>当金庫としては、同社の取組みが地域の農業復興と活性化に繋がり、熊本県の震災復興の第一歩になると判断し、中長期的な財務基盤の安定化に向けた金融対応として、アグリビジネス投資育成株式会社と連携のうえ出資を決定いたしました。</p>
3 成果 (効果)	<p>熊本地震対策ファンド（第 2 号案件）を出資。</p> <p>投資金額：5 百万円</p>
4 今後の予定（課題）	<p>引き続き復興対策支援室を中心に、農林水産業の発展に向けた更なる貢献を果たすことはもとより、被災地域での農林水産業者の方々の復旧・復興に向けた支援を継続します。</p>